

4. トラブルとその対応事例

4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別 (b. 漏えい)

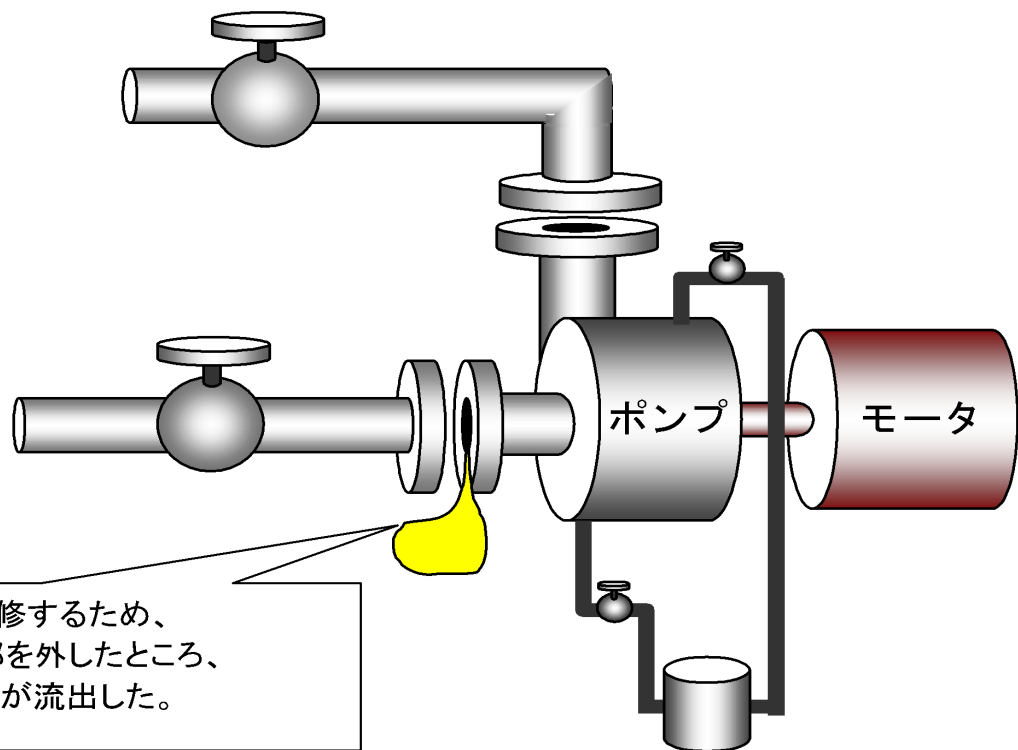
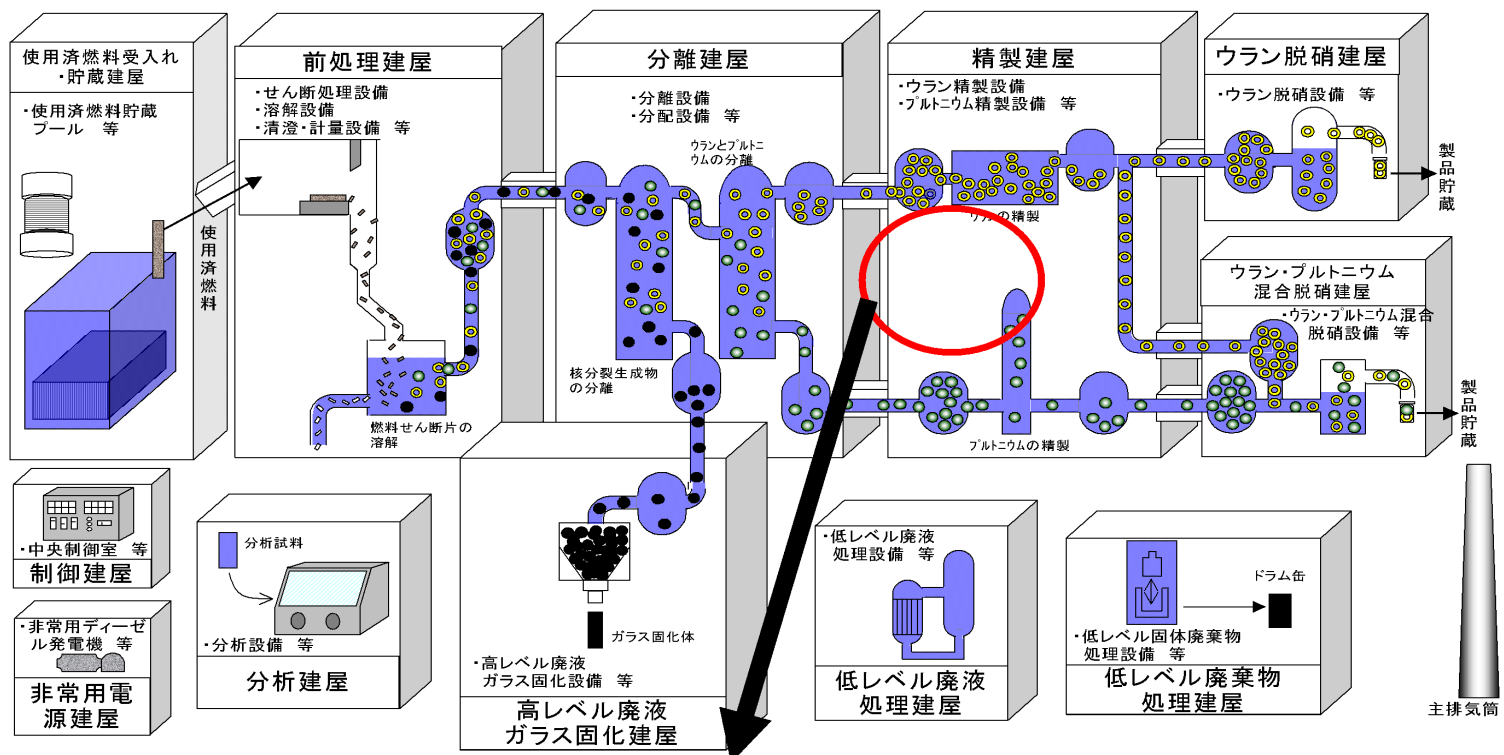
2 -06. 非放射性10規定硝酸貯槽ポンプからの硝酸の漏えい

事象の概要																	
(1)発生場所：機器	精製建屋：10N硝酸貯槽ポンプ																
(2)設備の概要	非放射性の10N硝酸（濃度10規定の硝酸）を試薬として使用するために他の槽へ移送するためのポンプ。																
(3)発生の状況	保守中																
(4)概要	硝酸を移送するポンプを保守するため、当該ポンプの配管継ぎ手部を取り外す作業中、配管内に溜まっていた硝酸が数リットル程度流出。 ＊他の建屋も含め同種の機器においても、同様な漏えいの発生が予想される。																
(5)原因	配管内の液体残留を十分に予測せず、養生等の事前準備を行なわなかった作業ミス。																
事象による影響																	
(1)工場外への影響	工場外への影響は生じない。 放射性物質を含まない硝酸の建屋内漏えいであり、この事象およびそれに伴う復旧作業により放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。																
(2)安全性への影響	安全上の問題は生じない。 放射性物質を含まない硝酸の建屋内漏えいであり、また、システムを隔離した際に残留した液体が漏れたもので漏えい量が限られること、定められた手順に従って漏えいした硝酸を回収することにより、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。																
(3)作業員への影響	作業員への影響は生じない。 放射性物質を取り扱わない復旧作業であること、薬品に対しては適切な保護具を着用することにより、放射線による作業員への影響は生じない。																
(4)他工程への影響	他工程への影響は生じない。 保守時における事象であり、他工程への影響は生じない。																
対応の概要	1.当該配管が接続配管から隔離されていることを確認する。 2.配管内の液抜きおよび流出した硝酸の回収を行う。 3.多重化された系統では、系統を切り替えて運転する。 4.定められた保守作業手順により、ポンプの保守を再開する。																
公表区分	毎月集約して月 1 回公表（ホームページへ掲載）																
連絡区分*	<table><tr><th colspan="3">トラブル情報</th><th colspan="3">運転情報</th></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>					トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報														
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等												

＊：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

125

事象概要



復旧方法

定められた操作手順に従い復旧操作をして復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

運転設備に影響なし

